

有効期間満了：2011年9月30日

案件名	「秩父宮賜杯第42回全日本大学駅伝対校選手権大会」運営におけるカーボン・オフセットの実施
申請者	社団法人日本学生陸上競技連合
案件の概要	全日本大学駅伝対校選手権大会とは、愛知・熱田神宮～三重・伊勢神宮の106.8km(8区間)を、全国25大学と東海学連選抜の合計26チームにより競う駅伝大会である。本大会では、環境への取り組みとして沿道の応援小旗の廃止、プリント用紙・記録用紙の削減など、自らの削減努力を行ってきたが、それらに加えて昨年度より更なる環境負荷低減を目指し、大会運営におけるカーボン・オフセットを実施している。今年度も引き続き、環境への取り組みの一つとしてカーボン・オフセットを実施する。バウンダリについては、大会運営における大会放送関係の運営、選手・関係者の接遇関係の運営、チーム移動関係を設定し、53tの排出量をJ-VERを用いてオフセットする。なお、昨年度開催された第41回大会のパンフレットを添付する。
認証区分・タイミング	I-2(会議・イベント開催オフセット) オフセット予定認証
カーボン・オフセットの主体(帰属先)	申請者
算定範囲	駅伝大会は、大会競技運営、大会放送関係の運営(中継車など)、式典関係の運営、選手・関係者の接遇関係の運営(ホテル、弁当など)、チーム移動関係、大会関連制作物関係、広報関係から構成され、そのうちの大会放送関係の運営、選手・関係者の接遇関係の運営、チーム移動関係を算定範囲とする。
オフセット量 / 算定排出量	51t / 51t
クレジット種別	オフセット・クレジット(J-VER)
プロジェクト名	三重県大台町宮川流域における持続可能な森林管理プロジェクト
無効化日	平成23年7月15日
情報公開	<p>【カーボン・オフセットの仕組みの説明】</p> <p>カーボン・オフセットとは、自分の温室効果ガス排出量を「見える化」し、削減努力を行っても削減しきれない排出量の全部または一部を、他の場所での排出削減・吸収量でオフセット(相殺)する仕組みである。</p> <p>【地球温暖化対策の喫緊性の説明】</p> <p>1906年から2005年までの100年間で、地球の平均気温は0.74℃上昇しており、近年になるほどその上昇速度は加速する。また、この地球温暖化により、自然環境、生態系、気候などに様々な影響が出ている。地球温暖化の主な原因は、人間の活動によって排出される二酸化炭素(CO2)</p>

であると言われており、このCO₂を削減することで低炭素社会の実現を図り、地球温暖化を防ぐことは、現在から将来にわたる社会の大きな課題である。

【カーボン・オフセット商品等提供主体の削減努力】

社団法人全日本学生陸上競技連合は、オフィス内の空調管理や照明管理、印刷物の削減などの活動を普段から行っており、学生に対しての啓蒙も積極的に行っている。

【消費者（参加者）の削減努力の促進に関する情報】

沿道での応援において小旗を廃止するなど、廃棄物の削減や分別、持ち帰り等協力をいただいている。また、来場時における公共交通機関の利用についても啓発する。

【オフセットの対象とする活動、期間、人数、距離等】

本駅伝大会のカーボン・オフセットでは、大会前の中継所設営からリハーサル、当日、大会終了後の中継所撤去及び廃棄物処理までを対象活動としている。具体的な対象活動としては、大会放送関係の運営（中継車など）、選手・関係者の接遇関係の運営（ホテル、弁当など）、チーム移動関係を算定範囲とする。

【対象とする活動に伴う排出量とオフセット量】

51t（昨年度大会での使用エネルギー実績から算定。なお、オフセットを行う量は大会開催後の実績値を用いて算出する。）

【算定の根拠としたガイドライン名または算定式等】

CO₂排出量は環境省のGHG排出量算定方法ガイドラインに基づき算出する。

【クレジットの種類】

オフセット・クレジット（J-VER）

【クレジットの認証プログラム（制度）名】

オフセット・クレジット（J-VER）制度

【クレジットの調達状況】

2010/9/17 発行

【クレジットの無効化方法】

無効化は、三菱UFJリース株式会社を通じて、オフセット・クレジット登録簿の無効化口座へ移転予定。

【クレジット調達期限・通知方法】

調達に係る契約を、あんしんプロバイダー制度参加事業者である三菱UFJリース株式会社と締結済み。移転時期は平成22年2月15日を予定。調達及び無効化でき次第、その旨を日本学生陸上競技連合ならびにアサツー ディ・ケイのWEBサイトにて通知する。

URL：<http://www.iuau.jp/>

<p>URL：http://www.adk.jp/index_ja.html</p> <p>【プロジェクト名】 三重県大台町宮川流域における持続可能な森林管理プロジェクト</p> <p>【プロジェクト実施国・実施地域】 日本・三重県</p> <p>【プロジェクトタイプ】 方法論：JRAM-002</p> <p>【プロジェクト概要】 本プロジェクトでは、上述したとおり中山間地域に位置し、過疎化・高齢化という課題を抱え、さらに林業を基幹産業とする大台町の特徴を踏まえ、大きく以下の3点を目的とする。</p> <p>① J-VER 制度を利用して中山間地域における CO2 吸収機能等の生態系サービスの提供。</p> <p>② 宮川流域の生態系サービスを促進することで水害対策等の実施。</p> <p>③ 森林管理活動を通じて、森・水に対する川上・川下住民の意識向上</p> <p>【プロジェクト期間】 1998年4月1日～2013年3月31日</p> <p>【プロジェクトの排出削減・吸収量】 6,974 t</p> <p>【カーボン・オフセットの主体】 申請者</p> <p>【その他】 本イベントのカーボン・オフセット認証にかかる責任は、申請者にて担う。</p>
